

# 指定管理導入施設実績評価シート（平成25年度）

施設所管課

市民部 自治協働課

<b>施設名</b>	木戸コミュニティセンター
<b>指定管理者</b>	社会福祉法人大津市社会福祉事業団
<b>指定期間</b>	平成21年4月1日 ～ 平成26年3月31日
<b>指定管理料</b>	年額 3,212,000 円 (総額 15,896,000 円)
<b>設置目的</b>	住民相互の交流の促進及び連携意識の高揚を図り、地域社会の発展に寄与するため、大津市木戸コミュニティセンターを設置する。
<b>業務内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大津市木戸コミュニティセンター条例第3条に規定する事業の実施に関する業務</li> <li>・大津市木戸コミュニティセンター条例第4条に規定する集会室等の使用の許可に関する業務</li> <li>・センターの施設及び設備の維持管理に関する業務</li> </ul>

<b>主な成果</b> <small>(自主事業含む)</small>	<b>使用料収入</b>	<b>目標</b>	273,000 円	⇒	<b>実績</b>	289,740 円
	<b>稼働率</b>	<b>目標</b>	20 %	⇒	<b>実績</b>	18 %
	<b>利用者数</b>	<b>目標</b>	7,500 人	⇒	<b>実績</b>	6,079 人
	<b>【主な自主事業実施による成果】</b>					
なし						

<b>総合評価</b>	I～IVによる総合評価	<b>総合評価コメント</b>
	B	概ね適正である。利用者数が年々減少傾向にあるため、設備改修や利用者の要望取入の努力はみられるが、利用者の増加を図るため、広く利用者意見を聴くなどアンケートの方法について、一定数の意見を定期的に収集できる仕組みを作るなど、よりよい施設利用の向上が図れるよう努められたい。

	評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	所管課評価
<b>I 実施体制</b>	<b>施設の設置目的の達成</b> 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努めていたか。	事業計画書、事業報告書	B	B
	<b>職員の勤務実績・配置状況・労働条件</b> 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 必要な資格、経験を有する職員を確保していたか。 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 障害者の雇用促進に努めていたか。	事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査	B	B
	<b>職員の研修</b> 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	事業計画書、事業報告書、研修資料等	B	B
	<b>法令等遵守</b> 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係書類等、実地調査	A	B
	<b>個人情報保護・情報公開</b> 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	協定書、管理方法（実地調査）	A	B
	<b>管理記録</b> 業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。	日報、点検結果等関係書類、実地調査	A	B
	<b>連絡体制</b> 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。	事業計画書、事業報告書等関係書類	A	B
	<b>緊急時対応</b> 事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	A	B
<b>《I 総括》 業務の実施体制に関する評価【標準8項目／当施設8項目】</b>			A	B

# 指定管理導入施設実績評価シート（平成25年度）

評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	所管課評価
<b>Ⅱ 内容・水準</b>	<b>施設管理</b> 開館日、開館時間を遵守していたか。 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	事業計画書、日報	A	B
	<b>利用状況</b> 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、事業報告書	B	C
	<b>利用者対応</b> 利用許可や案内等、職員の対応は迅速かつ適切に行っていたか。 服装、言葉遣い、接客態度等の接遇は適切であったか。 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	B	B
	<b>事業運営</b> 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 自主事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。	事業計画書、事業報告書、自主事業計画書、実地調査	B	B
	<b>維持管理</b> 施設、設備の保守管理(点検・修繕)を計画的に実施したか。 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 植栽、樹木等の維持管理を定期的に行い、美観が保たれていたか。	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	A	A
	<b>情報提供</b> 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 ホームページの管理は適切に行っていたか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B	B
	<b>環境配慮</b> 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B	B
	<b>意見・要望・苦情</b> 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	A	A
	<b>利用者アンケート</b> 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。利用者の満足度を高める工夫を行っているか。	事業計画書、アンケート、実地調査	B	C
<b>《Ⅱ総括》 業務の内容・水準に関する評価【標準9項目／当施設9項目】</b>			B	B
<b>Ⅲ 収支等</b>	<b>経理事務</b> 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行ったか。 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行していたか。 料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか。	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査（金庫等）	B	B
	<b>収支状況</b> 予算と決算に大幅な相違がなく、収入一支出はプラスとなっているか。 収支状況が対前年度比及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、事業報告書	B	B
	<b>経費節減の取組</b> 経費削減に向けた取り組みを積極的に実施し、その効果が上がったか。 清掃、警備、保守点検、修繕等の再委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業計画書、委託契約書、実地調査	B	B
	<b>《Ⅲ総括》 経費の収支等に関する評価【標準3項目／当施設3項目】</b>			B
<b>Ⅳ その他</b>	<b>その他</b>			
	<b>《Ⅳ総括》 その他に関する評価【当施設 項目】</b>			

<b>特記事項等 (課題・成果)</b>	<b>【指定管理者】</b> 平成25年度においては概ね目標数値を達成することができた。次年度においても、木戸コミュニティセンターの利用の周知に努め、引き続き地域の交流の場づくり等に貢献できるようサービス向上を図る。 また、防火・防災研修を木戸デイサービスセンター職員と合同で行い、防火・防災に対する意識をより高めることができた。次年度においても同様の研修及び接遇研修等実施し、職員のスキルアップを図る。
	<b>【施設所管課】</b> 昨年度に指摘した職員育成に関して、防火・防災研修や接遇研修を実施されたという点で改善がみられた。貸室の利用については、件数は昨年度と比較し、微増(550件→573件)したが、利用者数は、平成22年度に木戸公民館が開設して以降、年々減少傾向(昨年度比△1,070人)にあるため、利用者数増加のために、施設の周知の方法等について再度検討いただきたい。また、施設内に意見箱を設置し、利用者からの施設に関する意見集めに努めているが、投稿数が少ない現状を認識し、定期的に利用者団体にアンケート調査を実施するなど、広く利用者の意見を収集できる仕組みづくりを検討されたい。

※評価基準：項目別評価、《総括》、総合評価の評価基準(A～D)は、モニタリングチェックシートと同様とする。

